

令和4年度 小美玉市廃棄物減量等推進審議会の開催結果について

- ・日 時 令和4年11月24日(木) 13:30~15:25
- ・場 所 小美玉市役所 2F 第2会議室
- ・出席者 植木, 篠田, 荒川, 佐藤, 藤田, 松本, 福島, 井坂, 岩本(代理), 中嶋(代理), 羽鳥(愛), 長島, 山内, 吉倉, 【敬称略】
市長及び事務局: 6名 島田市長, 織田部長, 朝比奈課長, 坂本, 片岡, 坂内, 鈴木
- ・会議概要 協議内容および経過は、以下のとおり
 1. 開 会 : 課長
 2. あいさつ : 市長
 3. 委嘱状交付 : 植木委員が代表し委嘱状受け取り
 4. 自己紹介 : 各委員及び事務局
 5. 役員互選 : 会長: 藤田区長(区長会), 副会長: 松本代表(女性会)
 6. 議 題 : 以下, 会長が議事を進行
 - 1) 令和3年度実績報告 : 資料1
 - ・浄化槽汚泥の増加要因は
 - ⇒ 農業集落排水設備と下水道接続の増加によるもの
 - ・令和2年度ごみ量の増加要因は
 - ⇒ 新型コロナウイルスに伴う巣ごもり需要等を反映したもの
 - ・下水道の接続率, 浄化槽の設置率は
 - ⇒ 下水道課に確認する
 - 【詳細】公共下水道: 81.7%, 農業集落排水: 70.9%, 合併浄化槽: 72.0% (残りは単独浄化槽)
 - 2) 令和4年度事業経過 : 資料1・付属資料
 - ・プラ容器リサイクル推進のための周知啓発は(Co2 排出削減量, 若者呼びかけ, SNS)
 - ⇒ 意見として拝聴
 - ・プラ容器の回収ボックスの設置箇所の改善を。庁舎の中にあると使いづらい。庁舎閉庁時間にも持っていけない場所があるとよい。色で見分けるのは判別しづらいので, リサイクルマークで判別することを全面に押し出すとよい。
 - ⇒ 意見として拝聴
 - ・30L無料配布の実施方法の改善を(生ごみを出さない人は使いにくい。行政区を通して)
 - ⇒ 排出状況を踏まえ, 45Lサイズを主利用する現状を改善するため30Lサイズを配布する行政区の加入率の実情や高齢者等への配布率を上げるため, 直接配布方式により行う
 - ・無料配布は継続事業なのか?
 - ⇒ 年度内の事業である
 - ・先進地ではプラ容器を集積所回収している。積極的な取り組みを期待したい
 - ⇒ 市民の利便性(排出と回収の一貫性)を考慮し, 小売店での回収が合理的と捉えている処理施設での熱回収上, 必要でもあるため, 組合や構成市町とも検討したい
 - ・草木リサイクルによる収入は
 - ⇒ 逆有償である。たい肥としてリサイクルしている
 - 3) 令和5年度事業計画 : 資料1, 付属資料
 - ・カレンダーに記載する排出量や事業費を分かりやすくしてほしい
 - ⇒ 検討したい
 - ・ごみ袋が一番目に触れるので, 文言を工夫してほしい。単位が大きすぎてピンと来ない市民目線で分かりやすい載せ方にしてほしい(単位, 他市町村との比較など)
 - ⇒ 検討したい
 - ・霞台厚生施設の周辺整備事業として, 地域還元施設の建設や解体費等も含まれるか
 - ⇒ 周辺道路整備の費用は含まれる
 - ・霞台厚生施設で当初計画していた各ごみの搬入量と実績値は一致しているか
 - ⇒ 当初の計画は各市町のごみ処理計画を基に算出。予定よりも少し多い実績である